

一橋院「開発途上地域論」第1回
イントロダクション

2011年10月6日

有本 寛

arimotoy@ier.hit-u.ac.jp

問題意識

- 交換と(地域間)市場統合
 - 経済活動の根源
 - 経済発展の基礎であり, 厚生向上の源泉
- 交換や市場統合を阻害する要因は何か？
- それをどのように解決してきたか？
 - 解決する社会技術 = しくみ, 組織, 制度
 - 経済発展 ≡ 「市場を創る」歴史

概念整理

- 交換：
 - 個人間で財やサービスが相互に移転すること
- (地域的)市場統合(講義前半を通した緩い定義)：
 - 交換が成立し、地域間で裁定が「ある程度」成立していること
- 裁定取引：
 - 市場間や現物・先物(さきもの)間などの価格差を利用して利益を得る目的で行う取引

市場統合の経済発展への インプリケーション

- 経済活動(生産, 商業)の拡大
- 厚生向上(生産者+消費者)
 - (輸出側の)生産者:生産拡大 → 所得増
 - (輸入側の)消費者:消費拡大 → 効用増
- 分業の促進 → 生産性の上昇

交換（裁定）の利益

- 純粋交換経済のワルラス均衡
 - 厚生経済学の第1定理
- 地域間裁定の厚生向上効果 (Jensen, 2010)

交換の利益

図9-4(i) (x_A, x_B) は非効率的

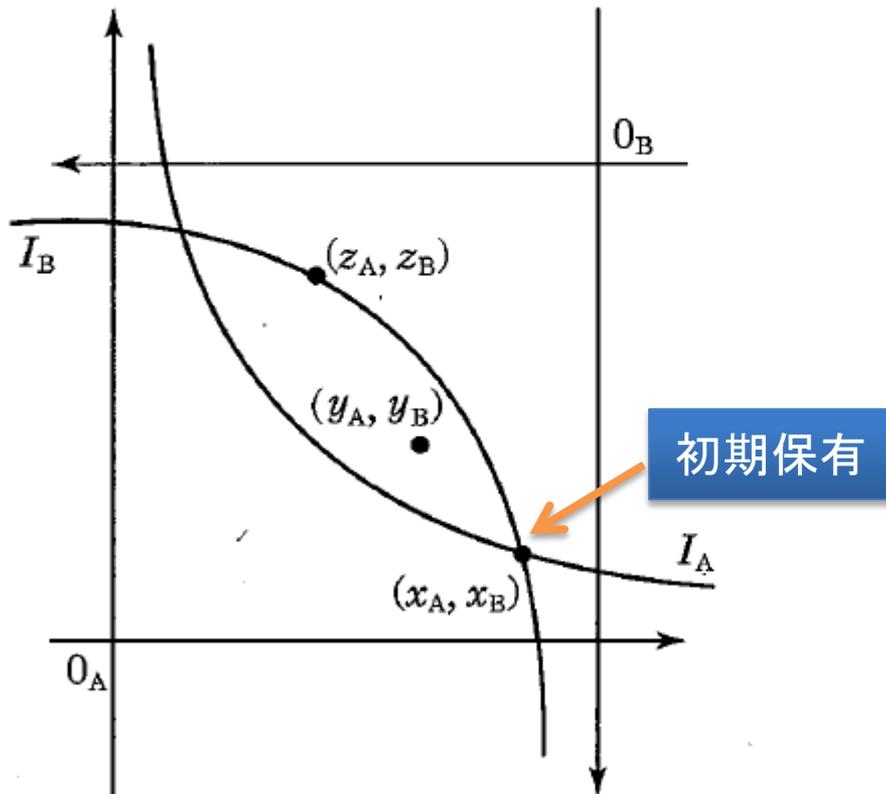
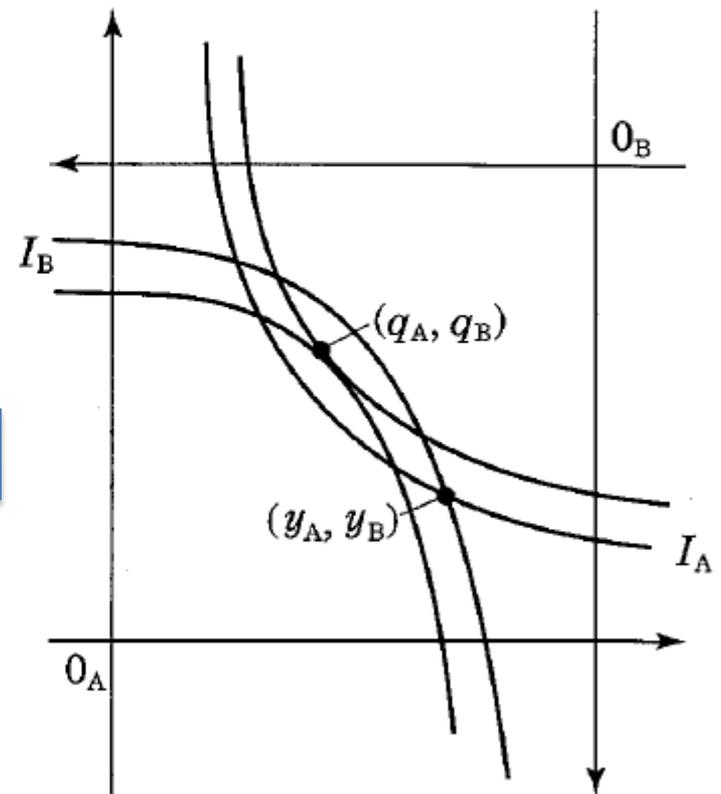
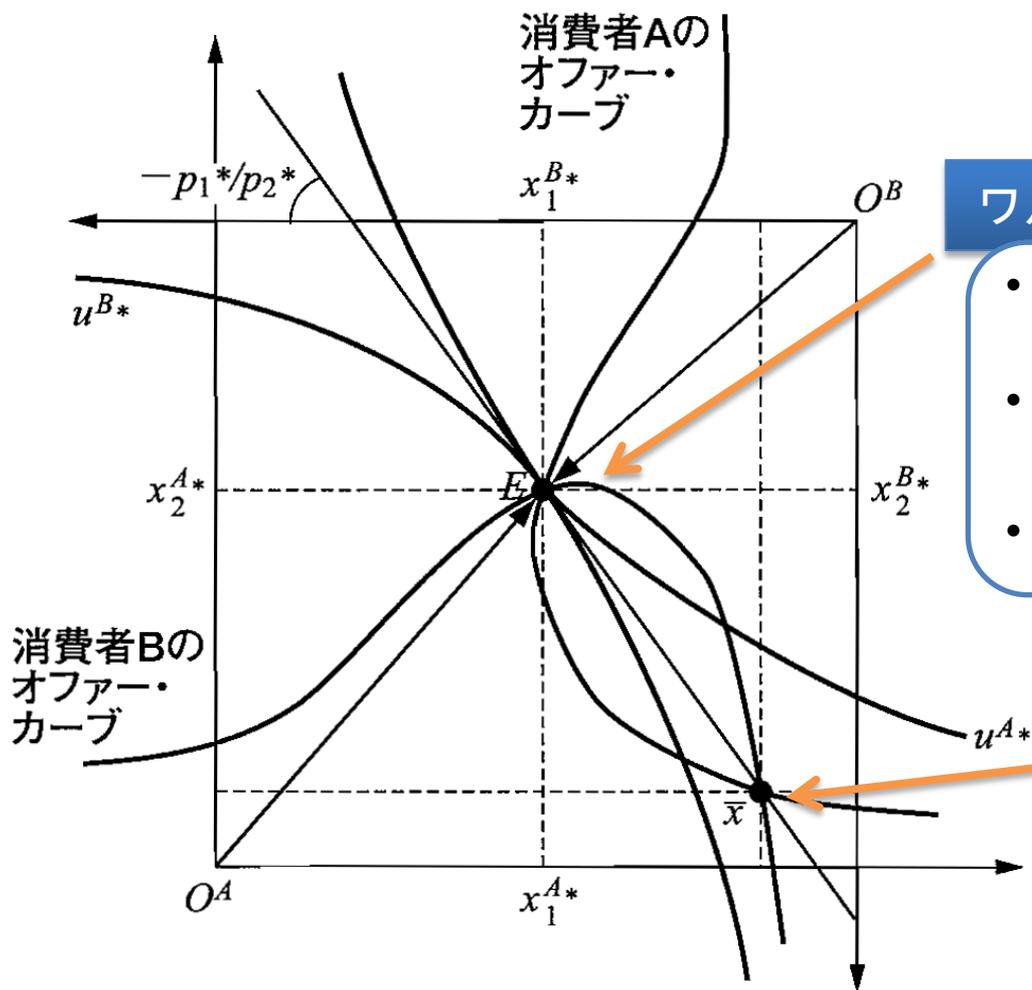


図9-4(ii) (q_A, q_B) は効率的



ワルラス均衡



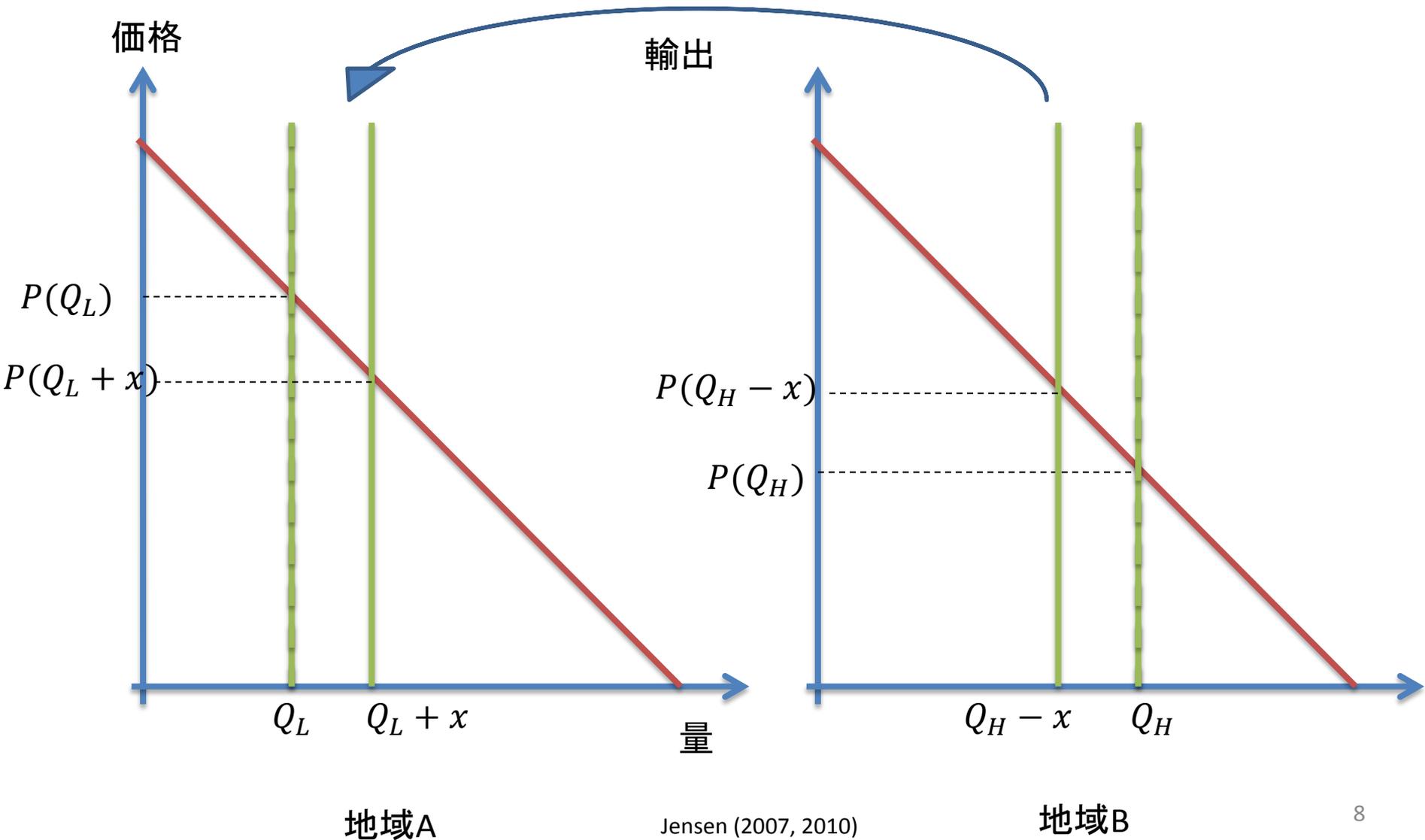
パレート効率的

ワルラス均衡

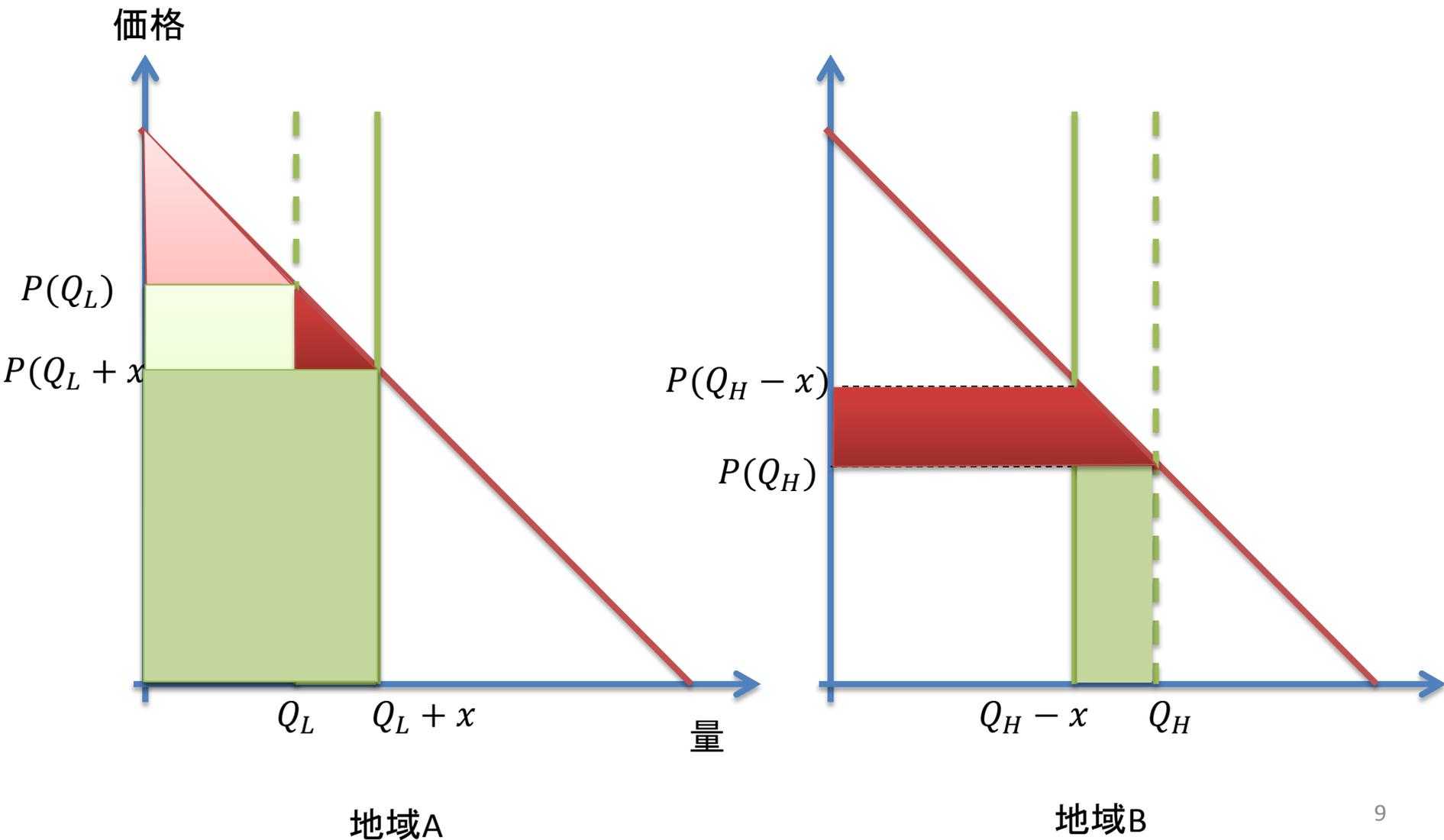
- \bar{x} を所与として, (p_1^*, p_2^*) のもとで効用最大化している
- 需給均衡
- $MRS_{12}^A = MRS_{12}^B = \frac{p_1^*}{p_2^*}$

初期保有

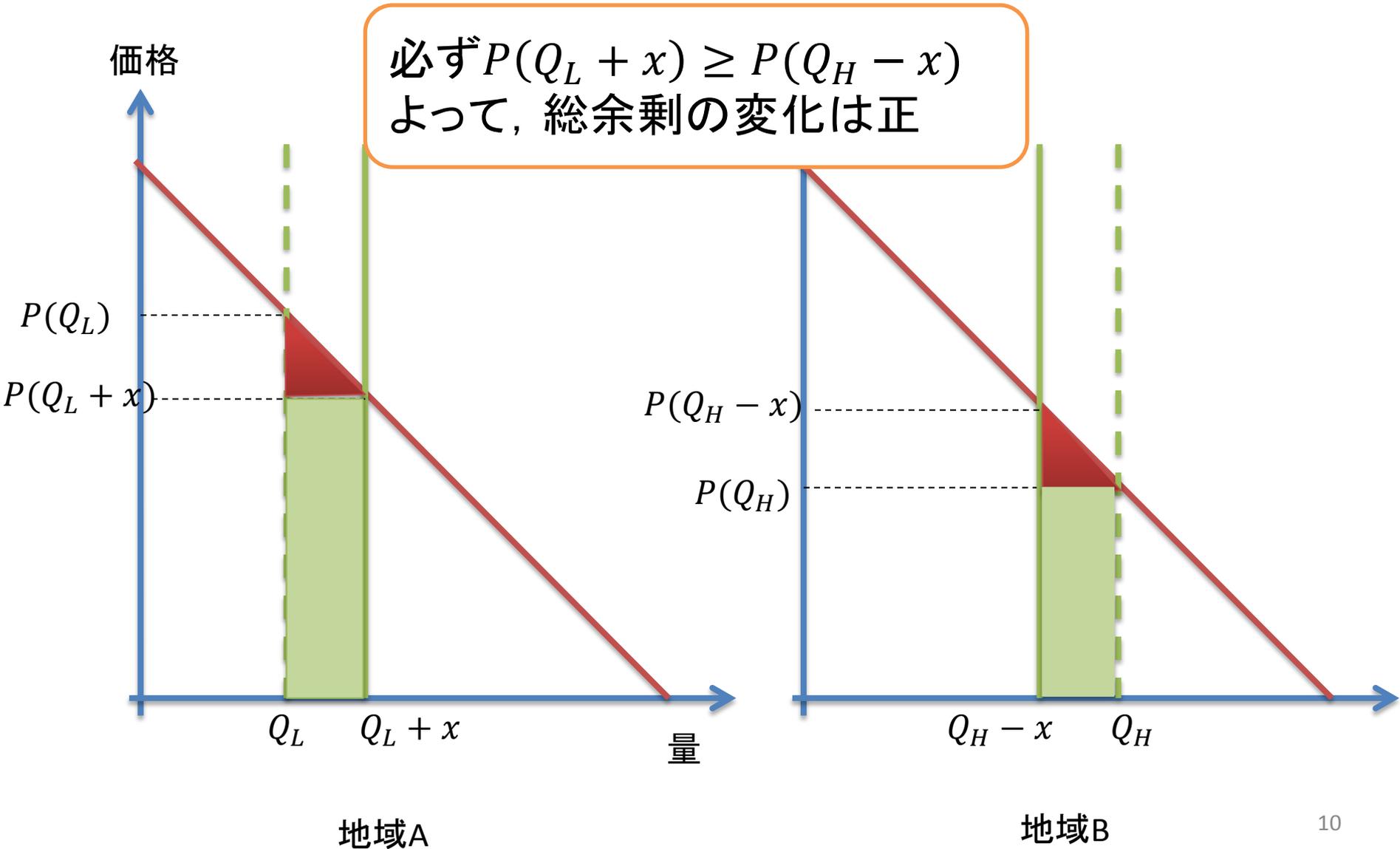
地域裁定の厚生向上効果



地域裁定の厚生向上効果



地域裁定の厚生向上効果



市場統合，阻害要因，制度の例：
マダガスカルのコメ市場

例：マダガスカルのコメ市場

- マダガスカルの主食はコメ
- 地域間市場統合は不完全
 - 季節的・地域的なコメの不足，価格高騰，輸入
- 市場統合の阻害要因は何か？
 - 貧弱な交通網
 - 価格情報伝達の不備
 - サーチ・マッチングの摩擦
 - 契約履行（代金回収リスク）
 - 品種・品質の不統一（現品検査の煩雑さ）

悪路



惡路



サーチ・マッチング，代金回収



計量



品質チェック



歴史から学ぶ制度的革新のヒント

- 品種・品質の不統一（現品検査の煩雑さ）
 - 米穀検査, 同業組合, 産地銘柄, ブランド
- サーチ・マッチングの摩擦
 - 流通構造・組織の革新
 - 卸売市場, 定期取引所の開設
- モラルハザード（代金回収リスク）
 - 流通構造・組織の革新
 - 小売商組合の設立

の革新の例

産地移出商
(荷主のおばさん)

- 出先で買い手を探すのは難しい
- 信用売りは代金回収リスクがある

仲介人

- 移出商に代わって買い手を探
- 代金回収も担う(信用判定も)

交換の基礎条件
市場統合の阻害要因
制度的対応

競争均衡配分への道のり

- 「ある価格のもとで、各消費者は予算の範囲内で最も好ましいものを選び、各企業は生産をおこない、そこで需給が一致するとき、その価格を競争均衡価格といい、そこでの配分を競争均衡配分という」(林, 2007, p.115)
- 競争均衡配分はパレート効率的(厚生経済学の第1基本定理)

競争均衡配分への道のり

- 市場が存在する(市場の普遍性)
- 各プレイヤーが価格受容者(完全競争)
- 取引費用がかからない

- コーディネーションの必要性
 - 価格の調整: 個別交渉で分散して価格がつく
 - 需給の調整: 模索過程, 需給に関する予想

コーディネーションの必要性： マダガスカル魚市場



漁船が帰ってきた！

コーディネーションの必要性： マダガスカル魚市場

陸揚げを手伝う！



コーディネーションの必要性： マダガスカル魚市場

漁船に群がる
小売の皆さん



コーディネーションの必要性： マダガスカル魚市場



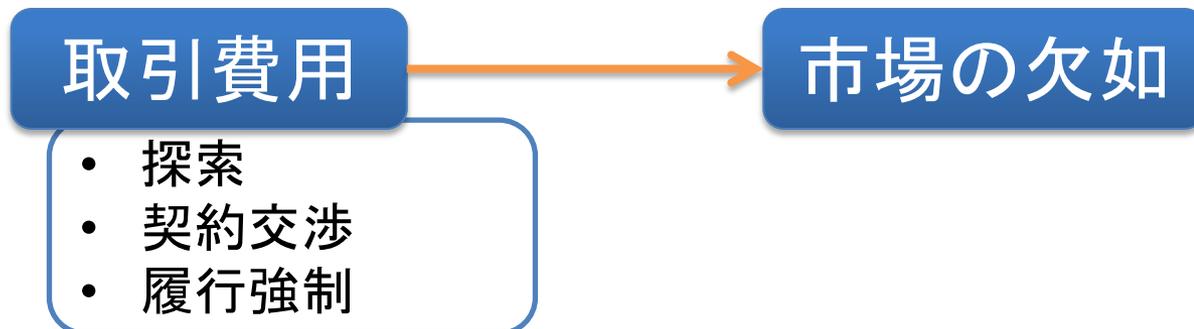
分配中

コーディネーションの必要性： マダガスカル魚市場

- 漁船が帰ってくるたびに分配
 - その日の総水揚げ？
 - 後から帰ってくる漁船に大量の魚があるかも？
- 全漁船帰ってきてから分配すれば？
 - コーディネーションの必要性
 - ➔ 定期定時の取引所(定期卸売市場)

市場が機能するための5条件

- McMillan (2003):
 1. 財産権が保護されていること(財産権の保護)
 2. 情報が円滑に流れること(サーチとマッチング)
 3. 人々が約束を守ると信頼して差し支えないこと(契約履行)
 4. 第三者に対する副次的影響が抑えられていること(外部性)
 5. 競争が促進されていること(競争促進)



資源配分のモード

- 市場が機能しないときどう資源配分する？
 - ⇒ 代替的な資源配分のモード(ドメイン)
 - 例) 市場 vs. 企業 (Coase, Williamson)

	贈与交換	市場交換	ヒエラルキー
例	<ul style="list-style-type: none">家計内親族間, 友人間	<ul style="list-style-type: none">企業vs.消費者企業vs.企業	<ul style="list-style-type: none">企業等組織の内部社会主義経済
動機	利他性	<ul style="list-style-type: none">利己的動機に基づく自発的交換相互利益の存在を前提とする	命令と統制
交換の利益	等価でない	等価	等価
互酬性	明示的でない	明示的	組織内インセンティブ構造に基づく補償

アフリカ経済に対する見立て

– Fafchamps (2004, ch.1):

- そもそも交換が少ない(自給自足が多い)
- 贈与交換が多い
- 市場交換の割合が高い
 - 自営業の割合が高い
- 大企業が少ない
 - 企業内取引が少ない
 - 取引の領域:
市場 > 企業

市場の取引費用が
高いのに・・・？

- 「ヒエラルキー」の弱さ
 - ✓ なぜ大企業が少ないのか？
 - ✓ 公共部門が弱いのか？
 - ✓ 中間組織や共同体が弱いのか？

アフリカ経済の特徴

多数の零細企業

- 小規模の取引が無数に分散
- 規模が小さすぎて担保がとれない
- 裁判所に訴えるには小さすぎる
- 「評判」がたたない
- 中間流通が厚くなる

信頼に基づく取引

評判に基づく取引

「ノミの市」経済

- 現物・現品の交換のみ
- 注文, 小切手, 信用取引, 保障等がない

自由参入の呪い？

- 独占の弊害を防ぐには、自由参入によって競争が促進される必要があるが…
 - →「市場が確立していること」が前提
- 「市場を創る」⇔ コーディネーションが必要
 - 参加主体が多すぎるとコーディネートが困難
 - 参入を規制する
 - 例) 株仲間, 同業組合, 村落共同体

市場統合の阻害要因と 制度的対策の例

- **サーチ・マッチング**: 適切な売り手・買い手と
うまく出会えない
 - 定期市, 貨幣, 卸売市場の開設, 流通制度
- **逆淘汰**: 粗製濫造, 計量不正など
 - 長期的関係, 信頼ネットワークの確立
 - 品質保障, 第三者検査, 「声価」, ブランド, 商標,
容量, 品質の統一, 規格化, 標準化
- **モラルハザード**: 納期遅れ, 不払いなど
 - 商人ギルド, 垂直統合, 権限委譲

市場統合をめぐる論点

- そもそもどれぐらい統合しているか？
- 市場の統合の阻害要因は何か？
- 市場が統合する過程で、どのような摩擦が生じたか？
- それらをどう解決したか？
 - 技術的解決（例，鉄道，携帯電話等）
 - 制度的解決 → 「市場を創る」（＝経済発展）
- 市場が統合した結果，何が起きたか？

前半の予定

- 第2回：サーチとマッチング
- 第3回：情報と市場統合
- 第4回：交通網の整備と市場統合
- 第5回：契約履行（導入）
- 第6回：契約履行（逆淘汰：事例）
- 第7回：契約履行（モラルハザード：理論）
- 第8回：契約履行（モラルハザード：事例）

報告について

- 報告時間は20分厳守
- 視覚資料を使うこと
- 報告の内容, 方針について, 1週間前のOHに必ず面談すること
- 報告論文はリスト外のものでも構わない. ただし, 事前に許可を得ること.